

北海道交流研修に参加して

認定こども園原町保育園 小牧 萌

六月一日、静岡空港より北海道新千歳空港へ。上空からは澄んだ青空、北海道らしい緑が一面に見え、着陸すると気持ちのいい空気を感ずることができました。またバスの車内から見える菜の花畑や牧草地は圧巻。大自然の中を走り抜けると、今回の視察先、公私連携幼児保連携型こども園はやきたこども園に到着しました。

大きな敷地に、広い保育室・園庭で子どもたち一人ひとりがのびのびと過ごしている様子を見ることができました。乳児・幼児が隣り合ったクラス配置になっていたことから、それぞれの年齢の子どもが、上の学年の子を見て学ぶことで、生活性が身に着くのだと思えました。

また、園庭では整備のために草刈りや工事等を行っていました。



それを見た子どもたちが草の匂いを感じたり、工事で使う機械の音や動きを真似したりと次の遊びに繋げている姿を見ることができました。こういったところから、体験が遊びに発展していくことを学びました。

保育士や異年齢での子ども同士の関わりから、乳児期に得るもの大切さを習得できる環境は、子どもたちにとっていい刺激になっていることを感じました。

完全ペーパーレスでネットワーク環境に長けているお話も聞くことができたため今後、参考にして、自園の職員間でも共有していきたいと思えました。

一日目の夕食はサッポロビール庭園内「ヴァルハラ」にて北海道名物のジンギスカンを堪能しました。本場の味を感じながら他園の先生方との情報交換ができ、充実した時間を過ごすことができました。

六月二日。朝からはやきたこども園を訪れ自由に園内を見学。子どもの遊びや保育者とのかわり、環境など様々なことに着目しながら視察し、子どもとかわる保育者に話を聞くこともできました。コーナーの作り方や継続した遊びの導き方等、参考にできることが多くあったため、今後、自身の保育で実践していきたいと思えます。

六月三日、四日は観光名所を巡りリフレッシュすることができました。新しく設立されたボールパーク「エスコンフィールド」では球場内のツアーに参加し、グラウンドを歩いてみたり、プレミアムシートに座ったりと普段

はなかなか経験ができないことも経験することができ、特別な時間となりました。

今回このような機会を与えてくださった皆様をはじめ、快く送り出してくれた職場の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

